

企業主導型保育事業における巡回指導の状況について (令和2年度結果)

目的

○公益財団法人児童育成協会において、企業主導型保育施設における保育内容等に関して、巡回指導員による助言・指導を実施するための巡回指導を行い、保育の質の向上及び児童の安全等の確保を図る。

実施状況

○巡回指導の実施施設（実施施設143施設　うち訪問24施設　電話ヒアリング119施設）

立入調査と同様に新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、全施設への訪問での実施が困難な状況となったため、訪問及び電話ヒアリングで指導を行った。

○対象施設

保育内容に課題があると認められる施設や運営開始後半年以内の施設などを対象に指導を行った。

巡回指導 実施施設数	主な指導・助言内容
143施設	<ul style="list-style-type: none">・子どもが、清潔かつ安全で、安心感をもって生活できる環境を整えること。・感染症、アレルギー対応、虐待、事故防止等に関する定期的なマニュアルの見直しや職員への継続的な周知が重要。必要な時に適切な行動が取れるよう普段から職員間でマニュアル確認を行うよう助言した。 (相談例) 各種マニュアルは作成しているが、職員への周知や定着の方法について教えてください。・職員が子どもに対する児童虐待の兆候を少しでも早く発見できるよう、職員間のコミュニケーションを高めること、フローチャートの確認や虐待予防チェックシート等の活用を促した。 (相談例) 保育施設での虐待防止や虐待の早期発見について教えて欲しい。・必ずしも法令上は消防計画など災害発生時の対応体制および避難への備えを整備する必要はないとしても、子どもと介護施設の利用者は異なるので策定することが望ましいと助言した (相談例) 消防計画や防火管理者は同一建物内にある介護施設で一括して作成しているが、保育施設独自で設定する必要があるか。